

Oracle® Enterprise Repository

ポリシー管理ガイド

10g リリース 3 (10.3)

2008 年 10 月

原著者 : Vimika Dinesh

協力者 : Jeff Schieli, Sharon Fay, Dennis Chin, Scott Spieker, Phil Reed, Adam Wallace

このプログラム(ソフトウェアおよびドキュメントを含む)には、オラクル社およびその関連会社に所有権のある情報が含まれています。このプログラムの使用または開示は、オラクル社およびその関連会社との契約に記された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権と工業所有権に関する法律により保護されています。独立して作成された他のソフトウェアとの互換性を得るために必要な場合、もしくは法律によって規定される場合を除き、このプログラムのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更される場合があります。オラクル社およびその関連会社は、このドキュメントに誤りが無いことの保証は致し兼ねます。これらのプログラムのライセンス契約で許諾されている場合を除き、プログラムを形式、手段(電子的または機械的)、目的に関係なく、複製または転用することはできません。

このプログラムが米国政府機関、もしくは米国政府機関に代わってこのプログラムをライセンスまたは使用する者に提供される場合は、次の注意が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS

Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the Programs, including documentation and technical data, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement, and, to the extent applicable, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software--Restricted Rights (June 1987). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このプログラムは、核、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションへの用途を目的としておりません。このプログラムをかける目的で使用する場合、上述のアプリケーションを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性(redundancy)、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。万一かかるプログラムの使用に起因して損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

Oracle, JD Edwards, PeopleSoft, Siebelは米国Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称は、他社の商標の可能性があり得ます。

このプログラムは、第三者のWebサイトへリンクし、第三者のコンテンツ、製品、サービスへアクセスすることがあります。オラクル社およびその関連会社は第三者のWebサイトで提供されるコンテンツについては、一切の責任を負いかねます。当該コンテンツの利用は、お客様の責任になります。第三者の製品またはサービスを購入する場合は、第三者と直接の取引となります。オラクル社およびその関連会社は、第三者の製品およびサービスの品質、契約の履行(製品またはサービスの提供、保証義務を含む)に関しては責任を負いかねます。また、第三者との取引により損失や損害が発生いたしましても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

ポリシー管理ガイド

目次

- **概要**
- **ポリシー管理機能のアクティブ化**
- **ポリシー タイプの作成**
- **ポリシー タイプへのポリシー アサーション要素の追加**
- **ポリシーの作成**
- **タイプへの適用対象アセット ポリシー要素の追加**
- **アセットへのポリシーの適用**
- **ポリシー状態の表示**
- **ポリシー アサーションの検証**

概要

- ポリシーは、設計時や開発時に考慮する必要のあるアセットの要件を伝え、ガバナンス、アーキテクチャ、およびその他の組織の標準にアセットを準拠させ、実施および監視する手段を管理者に提供するためにアセットに適用されます。たとえば、ポリシーはアセットを実行するプラットフォームや許容可能な欠陥密度率を特定することにより、企業の品質基準を明示します。
- ポリシーは複数のアセットに適用できます。
- 複数のポリシーを任意のアセットに適用できます。
- 各ポリシーは、少なくとも 1 つの**アサーション文**で構成されます。
 - 各アサーションには名前と説明があり、**技術的な定義**が含まれています。この技術的な定義には、サードパーティのテスト/検証ツールを使用してアサーションを自動的に検証する場合に必要な追加のメタデータが含まれます。このメタデータには、Web サービス固有のポリシー情報、XML、または外部システムで読み込むことのできるその他の形式を指定できます。
 - たとえば、欠陥密度のアサーション文では、欠陥密度を 0.1% 未満にする必要があることを記述します。

注意

また、Oracle Enterprise Repository のポリシー管理機能を使用するには、Oracle Enterprise Repository の**準拠テンプレート**と **Policy Management Solution Pack** が必要です。ポリシーやサンプルを入手するには、BEA_HOME/repository103/core/tools/solutions から Solution Pack をインストールし、**Import/Export ツール**を使用してお使いの環境にインポートします。

手順 2： 準拠テンプレートと Policy Management Solution Pack のインポート

ポリシー管理システム設定のコンフィグレーションが完了したら、BEA_HOME/repository103/core/tools/solutions から準拠テンプレートと Policy Management Solution Pack をインストールし、**Import/Export ツール**を使用してお使いの環境にインポートすることにより、ポリシーとサンプルを入手できます。

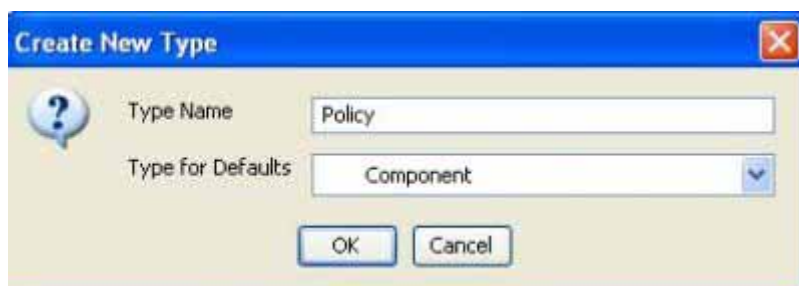
ポリシー タイプの作成

ポリシー タイプ テンプレートは、既存のアセットの種類または準拠テンプレートの種類をベースとして使用して作成できます。

1. Oracle Enterprise Repository の [Assets] 画面にある [Edit/Manage Assets] をクリックして **Asset Editor** を起動します。



2. **Asset Editor** の [Actions] メニューを開きます。
3. [Manage Types] をクリックして **Type Manager** を起動します。
4. [File] メニューを開き、[New] をクリックします。
5. [Create New Type] ポップアップの [Type for Defaults] プルダウンからテンプレートを選択します。



6. [Type Name] ボックスに名前を入力します。
7. [OK] をクリックします。
8. Type Manager の [Editor] タブにある [Archetype] プルダウンから [Policy Type] を選択します。

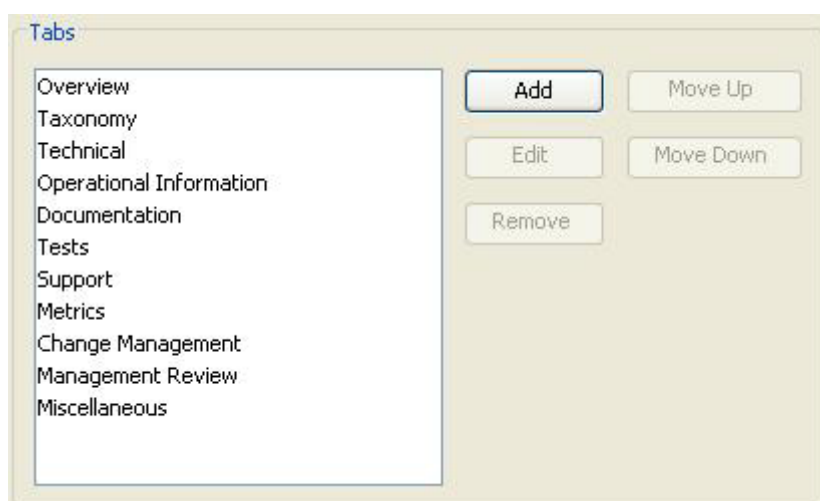


ポリシー タイプへのポリシー アサーション要素の追加

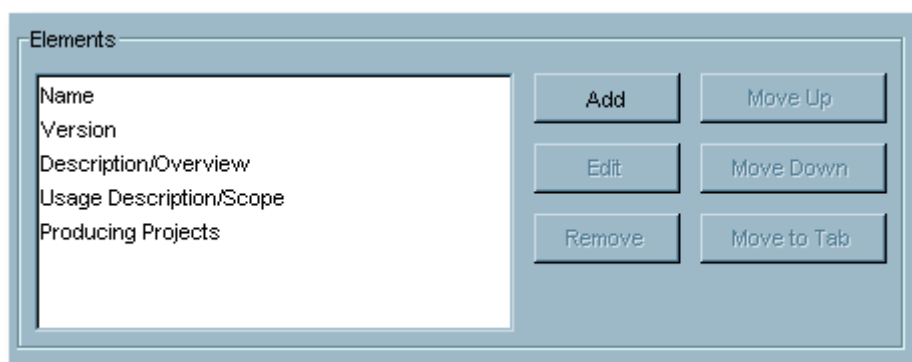
新しいポリシー テンプレートを正しく機能させるには、**ポリシー アサーション**要素を追加する必要があります。この単純な手順は **Type Manager** で行われます。

ポリシー アサーション要素は、ポリシー テンプレートの任意のタブに追加することができます。次の手順では、**ポリシー アサーション**要素が [Overview] タブに追加されます。

1. **Type Manager** の [Tabs] セクションで、[Overview] を選択します。

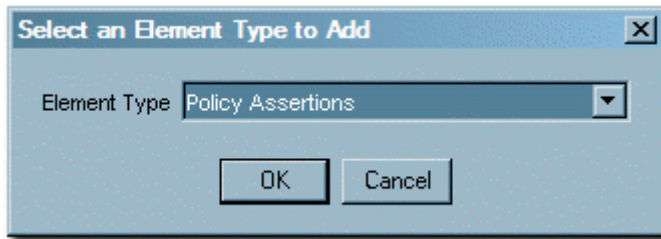


Type Manager の [Elements] セクションには、[Overview] タブにすでに割り当てられている要素が表示されます。

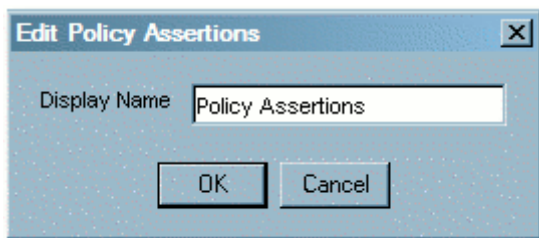


2. [Add] をクリックします。

3. [Select an Element Type to Add] ポップアップのプルダウンから [Policy Assertions] を選択します。



4. [OK] をクリックします。
5. [Edit Policy Assertions] ポップアップが表示されます。[Display Name] テキスト ボックスにポリシー アサーションの名前を入力します (次の例では、要素の名前として「Policy Assertions」を使用しています)。



6. [OK] をクリックします。
これで、**ポリシー アサーション**要素が [Elements] リストに表示されます。

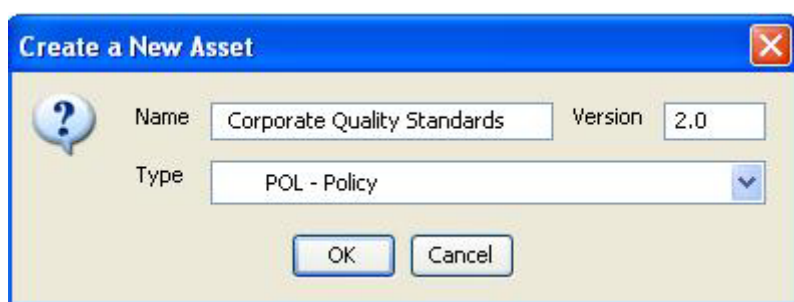
注意 : ポリシーに関連付けられているアセットを格納するアセットの種類には、ポリシー アサーション要素が必要です。

ポリシーの作成

ポリシーは、他のアセットとユニークな関係を持つ特殊な種類のアセットです。ポリシーは**ポリシー タイプ**を使用して作成されます（「[ポリシー タイプの作成](#)」を参照）。

この手順は **Asset Editor** で行われます。

1. [File] メニューを開き、[New] をクリックします。
2. [Create a New Asset] ポップアップの [Name] テキスト ボックスに、ポリシーの名前を入力します。



3. バージョン番号を入力します（省略可能）。
4. [Type] プルダウンから適切なポリシー タイプを選択します。
5. プルダウンから適切な [Initial State] を選択します。
6. [OK] をクリックします。

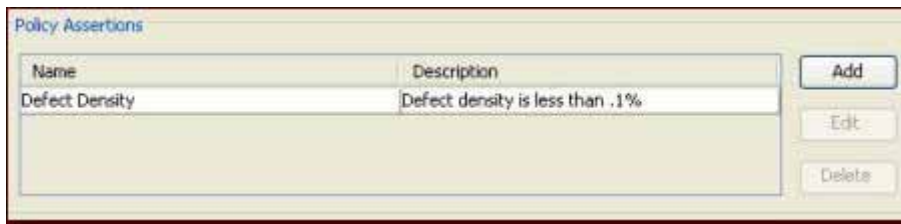
Asset Editor でポリシーが開きます。

7. [Policy Assertions] セクションの [Add] をクリックします。
[Edit] ポップアップが開きます。
8. 必要に応じて、[Name]、[Description]、および [Technical Definition] の各セクションに値を入力します。

注意 : [Name] と [Description] は、人間が読み取れる情報です。[Technical Definition] には、アサーションを他のプロセスやツールに渡すための、マシンが読み取れる (XML または同様の) 情報を入力する必要があります。

9. [OK] をクリックします。

[Policy Assertions] セクションに新しいポリシー アサーションが表示されます。



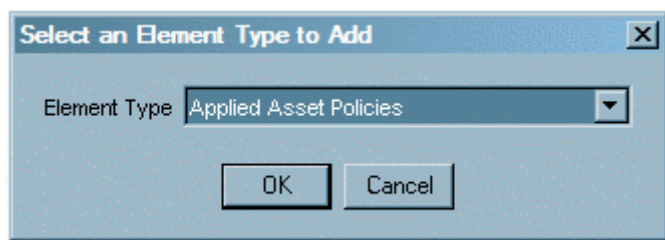
10. 上記の手順を繰り返して、アサーションをポリシーに追加します。

タイプへの適用対象アセット ポリシー要素の追加

ポリシーは、**適用対象アセット ポリシー要素**が追加されている種類のアセットにのみ適用できます。たとえば、企業品質ポリシーがすべてのサービスに適用可能な場合、そのポリシーが適用されるようにするには、「サービス」のアセットの種類に**適用対象アセット ポリシー要素**を追加する必要があります。

適用対象アセット ポリシー要素を追加する手順は、Type Manager で行われ、「**ポリシー タイプへのポリシー アサーション要素の追加**」の手順とほぼ同じです。

1. 選択したアセットの種類を開きます。
2. [Tabs] セクションで、**適用対象アセット ポリシー要素**の追加先のタブを選択します。
3. [Elements] セクションの [Add] をクリックします。
[Select an Element Type to Add] ポップアップが開きます。
4. [Applied Asset Policies] 要素を選択します。



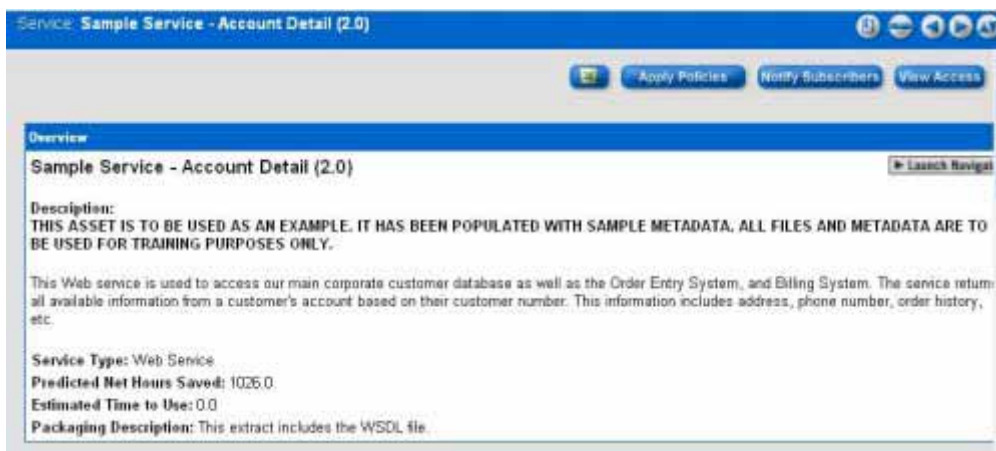
5. [OK] をクリックします。
[Edit Applied Asset Policies] ポップアップが開きます。
6. [Display Name] テキスト ボックスに適切な名前を入力します。
7. [OK] をクリックします。
8. [Elements] セクションのリストに、名前が割り当てられた**適用対象アセット ポリシー要素**が表示されます。

アセットへのポリシーの適用

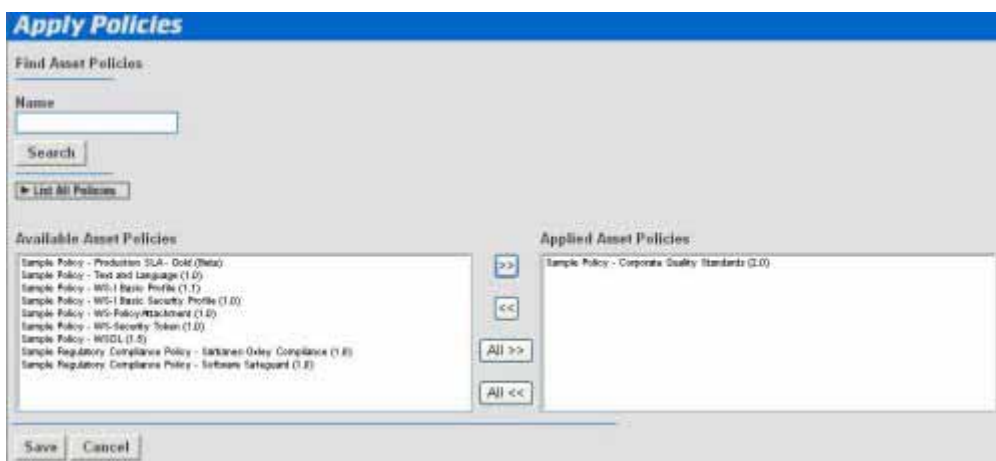
注意：ポリシーの基本アクセス設定で、[Apply Policy] パーミッションをユーザに割り当てる必要があります。

アセットにポリシーを追加する手順はアセット詳細表示で行われます。

1. Oracle Enterprise Repository の [Search] またはその他の方法を使用して、ポリシーの追加先のアセットを探します。
2. アセット詳細表示の [Apply Policies] ボタンをクリックします。



3. [List All Policies] をクリックして、[Available Asset Policies] ボックスにリストを表示します。



4. [>>] ボタンまたは [All >>] ボタンを使用して、選択したポリシーを [Applied Asset Policies] ボックスに移動します。

上記の例では、[Sample Policy - Corporate Quality Standards] ポリシーが適用されています。


5. [Save] をクリックします。

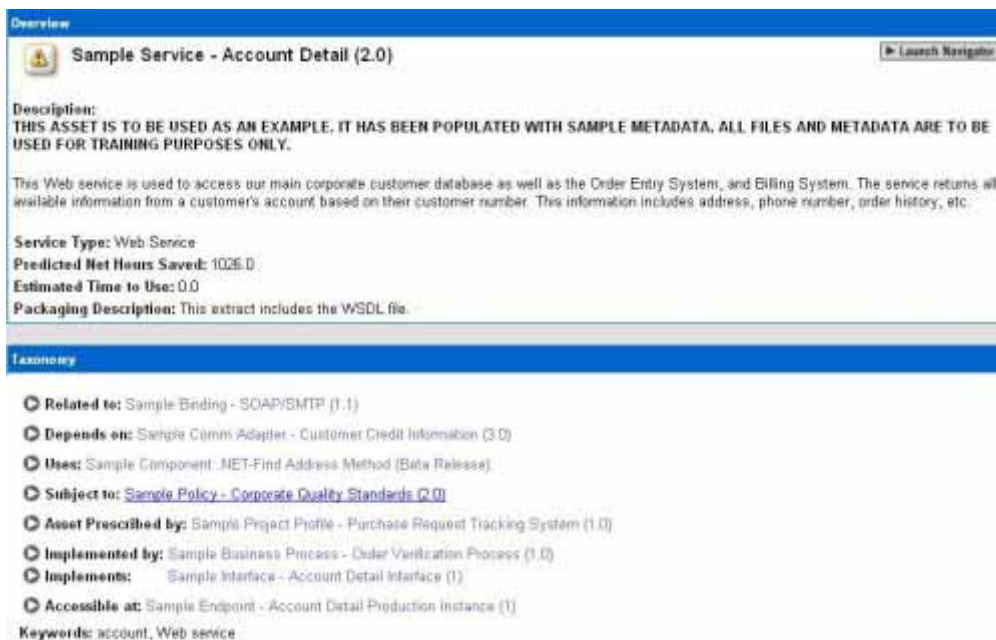
6. 確認メッセージが表示されます。



7. [Close] をクリックします。

8. アセット詳細フレームを更新します。

9. アセット詳細の [Overview] セクションの  アイコンは、ポリシーが適用されていることを示します (検索結果に表示されるアセットに対するポリシーの割り当てを示す場合は、同じアイコンの小さいサイズのものが使用されます)。



アセット詳細の [Relationships] セクションでは、[Sample Policy - Corporate Quality Standards] は適用済みポリシーとして示されます。そのポリシーの詳細を表示するには、テキスト リンクをクリックします。



ポリシー詳細の [Relationships] セクションには、[Sample Policy - Corporate Quality Standards] が適用されているアセットが表示されます。そのアセットの詳細表示に戻るには、[Sample Service - Account Detail (2.0)] のリンクをクリックします。




注意： 複数のポリシーを任意の適切なアセットに適用できます。

ポリシー状態の表示

ポリシー状態は、アセット詳細表示と検索結果のアイコンで示されます (また、ポリシー状態はオプションの **Navigator** にも表示されます)。

ポリシー状態は、適用済みポリシー内のアサーション文にアセットが準拠しているかどうかによって決定されます。複数のポリシーが適用される場合は、その各ポリシーに準拠しているときにのみ、アセットが「準拠」状態になります。

同様に、ポリシーは複数のアサーション文で構成されている場合があるため、**すべての**適用済みポリシー内の**すべての**アサーション文に準拠しているときにのみ、アセットが「準拠」状態になります。

	<p>状態 : 適用済み</p> <p>1 つまたは複数のポリシーがアセットに適用されていて、準拠/非準拠の状態が不確定であることを示します。</p> <p>準拠と不確定のアサーション文が混在する場合、アセットの状態は不確定になります。</p>
	<p>状態 : 準拠</p> <p>アセットがすべての適用済みポリシー内のすべてのアサーション文に準拠していることを示します。</p>
	<p>状態 : 非準拠</p> <p>アセットが必ずしもすべての適用済みポリシー内のすべてのアサーション文に準拠しているわけではないことを示します。</p> <p>いずれかの適用済みポリシー内のいずれかのアサーション文に準拠していない場合は、「非準拠」状態になります。</p>

ポリシー アサーションの検証

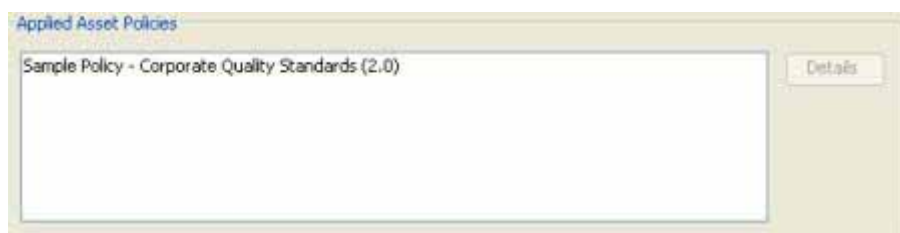
ポリシー アサーションは、Oracle Enterprise Repository を使用して手動で検証するか、またはテスト/検証ツールを使用して自動的に検証できます。このドキュメントでは、ポリシー アサーションの手動検証の方法について説明します。自動検証プロセスについては、お使いのテスト/検証ツールのドキュメントを参照してください。

ポリシー アサーションの手動検証は **Asset Editor** で行われます。

1. 更新するアセットを探します。
2. アセット内の [Applied Asset Policies] セクションに移動します。

このセクションのラベルと場所は、タイプ テンプレート内のポリシー要素のコンフィグレーションによって決定されます。

3. 更新するポリシーを選択します。



4. [Details] をクリックします。

[View Policy] ポップアップが開きます。



[View Policy] セクションに表示されるポリシーへのアセットの準拠状態は、[Result] カラムに示されます。上記の例の状態 [unknown] は、ポリシーがアセットに適用されており、そのポリシーのアサーション文への準拠が評価されていないことを示します。

5. 更新するアサーション文を選択します。

6. [Edit] をクリックします。

[Edit Assertion Result] ポップアップが開きます。

Dialog box titled "Edit Assertion Result" with the following fields:

- Name: Defect Density
- Description: Defect density is less than .1%
- Technical Definition:
- Evaluation Date: 2007-08-28
- Evaluation Value: (dropdown arrow)
- Evaluation Information:

Buttons: OK, Cancel

7. [Evaluation Value] プルダウンを開いて適切な状態を選択します。

Close-up of the Evaluation Value dropdown menu showing the following options:

- pass (selected)
- fail

この例では、[pass] 状態が選択されています。その他の詳細は、[Evaluation Information] に入力することができます。

8. [OK] をクリックします。

9. 更新された状態が、[View Policy] ポップアップの [Result] カラムに表示されます。

View Policy

Name: Sample Policy - Corporate Quality Standards (2.0)


Description: THIS POLICY IS TO BE USED AS AN EXAMPLE. IT HAS BEEN POPULATED WITH SAMPLE METADATA. ALL FILES AND METADATA ARE TO BE USED FOR TRAINING PURPOSES ONLY. <P>All software that goes into production must pass corporate standard quality thresholds.</P>

Assertions


Name	Evaluation Date	Result
Corporate Platforms	never	unknown
Defect Density	2007-08-28	pass
Documentation	never	unknown
Load Test	never	unknown
Performance	never	unknown
Priority Defects	never	unknown

Buttons: Edit, Clear, OK, Cancel

注意 : アサーション値を [unknown] に戻すには、アサーションを選択し、[Clear] をクリックします。


10. 残りのアサーションについても同じ手順で検証を続行します。
11. 完了したら、[OK] をクリックして [View Policy] ポップアップを閉じます。
12. アサーションに対する変更を保存します。
13. アセット詳細に  アイコンが表示されます。

Overview

 Sample Service - Account Detail (2.0) ▶ Launch Navigator


Description:
 THIS ASSET IS TO BE USED AS AN EXAMPLE. IT HAS BEEN POPULATED WITH SAMPLE METADATA. ALL FILES AND METADATA ARE TO BE USED FOR TRAINING PURPOSES ONLY.

This Web service is used to access our main corporate customer database as well as the Order Entry System, and Billing System. The service returns all available information from a customer's account based on their customer number. This information includes address, phone number, order history, etc.

Service Type: Web Service
Predicted Net Hours Saved: 1026.0
Estimated Time to Use: 0.0
Packaging Description: This extract includes the WSDL file.
Applied Asset Policies: (Click Policy name to expand detail)
 Sample Policy - Corporate Quality Standards (2.0)

ポリシーへの準拠を示す同じアイコンが、検索結果のアセット名の横にも表示されます。

Export to PDF Go ▶ Save This Search Results (1)

Name	Version	Type	Status
 Sample Service - Account Detail	2.0	Service	Registered